

福祉って何？ ～一人ひとりが大切にされる社会～

社会福祉を支える基本的な原理のなかで最も基盤にあるのが基本的人権の尊重です。社会福祉の対象は、社会の仕組みによって不利益を被っている人たちです。不利益を被っている人、困っている人を助け、皆の基本的人権を実現し、そして、一人ひとりが大切にされる社会を築くこと、これが社会福祉です。

澤邊 みさ子 教授

- 出張講義分野
社会福祉、障害者福祉、雇用問題
- 研究分野のキーワード
福祉、障害、ユニバーサルデザイン
- 専門分野
社会福祉、障害者福祉



大学ではこんなことを研究しています

誰もが働く権利を持っていますが、今の社会では、障害があるために、働く機会に恵まれない人たちがいます。働きたいと望んでいる障害のある人が、働く権利を実現するために必要な支援や制度のあり方、障害の有無に関わらず共に働く方法があるのではないかと、これが私の研究テーマです。

先生からメッセージ

誰でも自分が生きたいように生きる権利があります。しかし、私たちは一人で生きているわけではなく、また生きていけるわけでもありません。誰もが自分勝手に行動したら、きっとどこかで衝突が起こってしまいます。互いに尊重しあい、共に生きていける社会をどうやって作ってあげればよいか。それを見つけるためには、社会の仕組みについて学び、いろいろな人の意見を聞き、その上で、自分で考え、それを実行していくことが重要です。一人ひとりが大切にされる社会とはどのようにすれば実現できるのか、公益大と一緒に考えていきましょう。

略歴 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。修士（経済学）。
千葉商科大学、東京学芸大学等で非常勤講師を経て、2001年4月より東北公益文科大学講師。
准教授を経て、2014年4月より現職。日本公益学会理事、日本ニュージーランド学会事務局長。